

ぶな

2023年10月号

NO. 535



滋賀県勤労者山岳連盟 比良雪稜会

巻 頭 言

○村 智

私事で恐縮ですが、心待ちにしていた8月3日出発の夏山例会に向けて、ベストコンディションで臨むべく高山病予防のサプリメントを飲み睡眠も十分にと睡眠薬も飲み7月31日21時頃床に着きました。23時50分頃バタバタと大きな物音等の気配で目覚めましたが頭はぼ～としていて何が起きているのか瞬時には判断出来ませんでした。娘が二階で大きな物音がしたので駆けつけてみると夫が布団の上でうずくまっていて頭がおかしいと言うのみです。他のことは何も記憶にないので直ちに救急車を要請しました。大津日赤へ。病名は予想通り脳梗塞でした、夜が明けるのを待って T.K さんにリーダーに連絡をとっていただき交通機関、小屋等のキャンセルの願いをしました。幸いな事に脳梗塞としては髪の毛位の細い血管が詰まったようで後遺症はなく元気です。高齢者の登山中の事故としては体力不足の転倒や滑落による遭難が相次いでいますが発病による事故も意外に多いそうです。

日々健康には気をつけて検診を受けていましたが突然の事で防ぎようがありません。

出発前でもよかったと思う日々です。

目 次

巻頭言	1
【例会案内】	
柳生街道(滝坂の道)	3
八雲ヶ原テント泊例会	4
秋の野点山行	5
武平峠～根の平峠	6
水質調査&放射線測定山行	7
ハイキングレスキュー講習会（県連主催）	8
【例会山行報告】	
北八ヶ岳	9
【個人山行報告】	
塩見岳	1 1
双六岳～三俣蓮華岳～鷲羽岳	1 3
槍ヶ岳	1 5
ゆっくり歩こう北アルプス（南岳）	1 7
立山三山	1 8
運営委員会報告	2 1
雪稜会予定表	2 4

〈表紙写真〉立山三山の雷鳥
撮影者：K嶋 F男
日 時：2023.8.31

《例会案内》

柳生街道(滝坂の道)

江戸時代に剣豪たちが往来した柳生街道。柳生街道随一の名刹「円成寺」、石切り峠近くにある「峠の茶屋」などまるでタイムスリップしたようなコースを歩きます。

日時 2023年 10月 8日(日)

集合 近鉄京都駅改札前 7時 50分

行程 円成寺～峠の茶屋～地獄谷石窟～首切り地蔵～朝日観音～夕日観音～
寝佛～石の灯籠～志賀直哉旧居～春日大社～近鉄奈良(15:30)

距離 12km 時間 5時間半(含休憩)

レベル ★☆☆☆☆ 技術 ★☆☆☆☆

装備 昼食・飲料水・その他日帰り装備

締切日 10月 4日(水)

中止する場合は、前日 7日の13時までにメールにて連絡します。

<例会山行案内>

八雲ヶ原テント泊

コロナも5類に移行し、久しぶりに比良山系でテント泊をします。会から4人用のテント2張り借ります。ソロテント持参の方も大歓迎です。八雲ヶ原でテントを張り、翌日、武奈ヶ岳へ。

日程：2023年10月15日（日）～16日（月）

行程：1日目 イン谷 9:30 集合～ダケ道～北比良峠（昼食）～八雲ヶ原
テント泊

2日目 八雲ヶ原 7:30～ナガオ尾根～釣瓶岳～武奈ヶ岳（昼食）～細川
越～広谷～八雲ヶ原（テント撤収）～ダケ道～イン谷 16:00 解
散

レベル：体力 ★★★☆☆ 技術 ★★★☆☆

装備：テント泊装備

シュラフ・マット・食器類・防寒着・ヘッドライト・雨具
地図・コンパス他

申し込み締め切り：10月2日（月）

締め切り後に参加者全員で打ち合わせ会をします。

〈 例会山行案内 〉

登山祭典 兼 秋の公開野点山行

余呉トレイル

音波山 (872.6m)

… 中央分水嶺の県境尾根歩き ブナ黄葉など 秋を満喫しませんか！ …

日 程： 2023 年 10 月 22 日(日) (雨天中止)

コース： 堅田駅 7:35=(貸切バス)=小野駅=和邇駅==365 号栃ノ木峠手前の
登山口 10:15~765m~巡視路分岐~音波山・昼食&野点 (時間があれば
もう少し先まで足を延ばします)~(往路を戻る)~365 号栃ノ木峠手前
の登山口 16:15=(バス)=和邇駅・小野駅・堅田駅(18:15 頃帰着予定)
歩行 約 5 時間

集 合： JR 堅田駅 7:35 又は小野駅 7:45 又は和邇駅 7:50

交 通： 貸切バス

持 物： 弁当・飲物・雨具・ライト等の日帰り装備

参加費： 会員&家族・会友：2500 円

一般：3700 円 (バス代・抹茶&菓子代・保険代等含む)

定 員： 50 名

締 切： 10 月 15 日(日) 但し定員になり次第締切

担当&申込先：西村高 eメール：kazuyo-buna@r.river.sannet.ne.jp

fax：077-594-0454 携帯：090-8932-2460

秋のメイン行事です！
会員は早めに申込ください。
家族・友人・知人も是非お誘いください。
野点をします！ 賑やかで楽しい山行としましょう！

〈例会山行案内〉

鈴鹿 県境稜線を往く
武平峠～御在所岳～根の平峠～朝明駐車場

日程 10月29日(日)

集合：堅田駅 6:30

人気の御在所岳と奇岩の国見岳を登ります。鈴鹿縦走の中核をなすコースですので再度計画しました。

コース 堅田駅 6:30＝(朝明駐車場配車)＝武平峠 9:49～御在所岳 11:35(昼食)12:05～国見岳 12:51～青岳 13:09～根の平峠 14:11～朝明駐車場 15:45＝武平峠 16:30 解散

コースタイム倍率×1.2のペースで計画しています。

難易度 体力★★★★☆☆ 技術★★★★☆☆

装備：弁当・飲み物・雨具・行動食・非常食・手袋・地図・ヘッドライト
その他日帰り登山装備

締切日 10月23日(月)

中止：前日9時の予報で降雨・強風の場合は中止にします。この場合12:00までに連絡します。

例会山行案内>

～交流登山～

第 24 回比良山系飲み水水質調査・第 9 回放射線測定山行

今年は、滋賀県内の他会の方も参加できる「交流登山」に指定されました。また、「夏原グラント」の助成を受けています。長い間当会が続けている自然保護活動のひとつです。他会の方との交流ができるチャンスですし、南比良峠で両コースが会えるかどうか楽しみですよ！！是非参加ください。

11月3日(金祝) 7:00 和邇川河川敷集合

<コース>

1 班 大橋スリバチの水方面

和邇川河川敷＝坊村～牛コバ～○大橋スリバチの水～南比良峠(昼食)～烏谷山～摺鉢山～○白滝谷登山口湧水～坊村＝○権現山登山口湧水(採水)＝事務所

2 班 荒川峠方面

和邇川河川敷＝(中谷出合登山口へ配車)＝●イン谷口～●大山口～●カモシカ台～●北比良峠～○●八雲ヶ原水場～●金糞峠～●南比良峠(昼食)～●荒川峠～○●荒川峠道湧水～●中谷出合登山口＝(イン谷口へ車回収)＝○●金比羅道の湧水＝事務所

※○印は採水場所、●印は放射線測定場所です。

※採水用具等は会で用意し、朝お渡しします。終了後事務所に集めます。

※放射線測定は、機器が1台しか借りられないため、荒川峠方面のみの測定です。

※交通費・検査費用は、夏原グラントから助成されます。

レベル 体力 ★★★☆☆ 技術 ★★☆☆☆

持ち物 水、昼食、非常食、地図、磁石、雨具、ヘッドライト、その他日帰り装備

希望コースを明記のうえ、お申し込み下さい。

締め切り 10月27日(金)



この事業は平和堂財団環境保全活動助成事業「夏原グラント」の助成を受けて実施しています。

案内

「ハイキングレスキュー講習会」(県連主催)

日時 2023年11月12日(日) 受付8時30分 9時～15時

受付・集合場所： 皇子が丘公園 駐車場 (湖西道路直下) 東屋

持ち物： 山行時の日帰りハイキング装備

緊急時に備えて常々携行しているスリング・カラビナ、細引き

内容： 細引きの結び方、簡易ハーネスの作り方、カラビナスル

一、事故者の所まで行くために細引きで丸結びを使った

斜面の降り方登り方の技術習得

楽しくハイキングするために、緊急時の対応を知っていると安心です。

危険なハイキングなんてしていない、事故なんて起こらないと思っていま

せんか。何が起こるかわかりません、万が一の時に自分たちで最善な対

応が出来るように講習に参加して、体験してください。たくさんの方の参

加をお願いします。

会員の皆様、「ハイキングレスキュー講習会」参加を当会として

推奨いたします。是非、多くの参加をお待ちしております。

〈例会山行報告〉 北八ヶ岳（茶臼山～縞枯山～北横岳）

日時 2023年9月17日(日)～18日(祝・月)

天候：2日とも概ね晴れで好展望、

参加者：8名 CL:N尾(記録)・SL:H島・H浦(会計)・K原(写真)・I井(記録)

S田・T中利・F古川・

(行程) 17日(日) 約6.5km 約3.5時間

JR 堅田駅 6:15～名神栗東～中央～養老 SA～駒ヶ岳 SA～諏訪 IC～北八ヶ岳ロープウェイ
駐車場 11:30～山麓駅 12:00 ロープウェイ山頂駅 12:07(昼食)12:35～雨池峠 12:55～雨池
西岸 13:35～雨池周回～地獄谷 15:30～麦草峠/麦草ヒュッテ 16:00

6:15に堅田駅集合、車2台で北八ヶ岳ロープウェイの山麓駅駐車場へ。連休で満車状態だったが何とか駐車できた。RWは琵琶湖パレイのと同じ型式？で約500mを7分で登る。JAFで200円引き。坪庭前で昼食後、雨池～地獄谷～麦草峠にある麦草ヒュッテへ。木道が多くて道中ではきれいな苔が多く見られた。大昔の噴火跡らしい地獄谷はすごい苔だらけ。ヒュッテは空いていて8畳の個室3部屋使え珍しく風呂にも入れビール。夕食もおいしくゆっくり寛げた。宿泊料がモンベルカードで500円引きだった。長尾
18日 晴午後曇一時雨 約8.1km 約7.5時間

麦草ヒュッテ 4:50～大石峠～中木場 5:30 朝食～茶臼山展望台 6:35～縞枯山展望台
～縞枯山 8:00～雨池峠～縞枯山荘 8:45～坪庭横岳分岐 9:00～三ツ岳分岐 9:50～
北横岳ヒュッテ 10:05～北横岳南峰 10:20～北横岳北峰 10:30 昼食～北横岳南峰～
北横岳ヒュッテ 11:10～七ツ池 11:20～北横岳ヒュッテ～坪庭～北八ヶ岳ロープウェイ
山頂駅 12:30

山頂駅 12:40＝山麓駅 13:15＝諏訪 IC＝恵那 SA16:20 解散＝栗東 IC＝堅田

4時起床。日の出を見るため早朝に麦草ヒュッテを出発。まだ暗いのでヘッドランプを使う。麦草ヒュッテを出て茶水の池の分岐を左に取る。岩がごろごろした樹間の道を進むといきなり急登・直登。ところどころに水たまりや泥濘があり、木道となっているところもある。ここを登りきると中木場に到着。ここで日の出を見るつもりが、方角が違って見られず。見晴らしは良いのだが風があつて寒く、樹間のところまで降りて朝食とする。ここより樹間の道をさらに登ると、茶臼山展望台に出る。ここからは、北・南・中央アルプスの山々が眺望できる。眺望を堪能して縞枯山に向かう。縞枯山と茶臼山の鞍部に縞枯れがある。これは樹木が帯状に集団枯れ死する現象で、枯れた木が白い縞状に見える。縞枯山は、樹間の中にあり、どこにあるのか分からず少し迷っ

た。縞枯山から雨池峠・縞枯山荘・坪庭へと戻り、坪庭の北横岳分岐で急な階段を上る。少し坪庭を歩いて、北横岳登山道に入る。この道も樹間で岩がごろごろしている。急な登りを進むと北横岳ヒュッテに到着。少し休憩してさらに登ると、急な階段があり、それを登りきると北横岳南峰に着く。さらに進んで、10分足らずで北横岳北峰に着く。山頂は平らで、多くの人が入った。ここで昼食。食後南峰から北横岳ヒュッテに戻る。ここから少し下った七つ池に行く。1つ目の池からさらに行くと2つ目がある。池はここまでしか行けない。北横岳ヒュッテに戻り、来た道を引き返す。坪庭に12時過ぎに戻る。ロープウェイにて山麓駅へ。

山麓駅から一路帰途へ。恵那SAにて解散。

I井

〈一口感想〉

いつかチャンスがあれば行ってみたいと思っていた北八ヶ岳。例会山行案内を見て直ぐに申し込みました。天候に恵まれた2日間でした。神秘的な苔の森の中には何百種類もの可愛らしい小さな生命力に圧倒されました。山頂では見渡す限りの雲海の景色に目を見張りテンション上がります。感動で胸がいっぱいでした。また雨池峠辺りに熊かも(・・? という情報にも屈せず前進有るのみ。ご一緒させていただきました経験豊富なメンバーの皆様に感謝の2日間でした。

S田

3年前にも行ったのですが、独特の雰囲気があり、もう一度見たくてお願いしました。苔むしたジブリの世界感のような森や、縞枯山荘付近の木道、茶白山や縞枯山の、巨大な岩の展望台がお気に入りです。長時間の運転、ドライバーの方、本当にお疲れ様でした。そしてありがとうございました。

H浦

北横岳北峰山頂



《個人山行報告》

塩見岳(三伏峠小屋)

日時 2023年8月21日～24日

参加者 CL F野 SL F川 N田 I井(記録)

行程

21日 琵琶湖大橋＝彦根 IC＝(名神・中央道)＝松川 IC＝民宿美野鹿

22日 民宿美野鹿＝駐車場ゲート～鳥倉登山口～三伏峠小屋

23日 三伏峠小屋～鳥倉登山口～駐車場ゲート＝民宿美野鹿

24日 民宿美野鹿＝松川 IC(名神・中央道)＝栗東 IC～帰滋

(予定行程 23日 三伏峠小屋～塩見岳～塩見小屋

24日 塩見小屋～登山口＝民宿美野鹿

25日 帰滋)

21日 晴 9時30分頃堅田側から琵琶湖大橋を渡り、彦根 IC より名神高速道に入り、休憩・昼食をはさみ、中央道を経て松川 IC で高速道路を降りる。ナビを頼りに本日宿泊の民宿美野鹿を目指す。14時30分民宿到着。普通の田舎の一軒家のような民宿。可愛いワンちゃんの出迎えを受ける。夕食まで時間があつたので、付近を散歩する。

22日 晴後曇 夜雨

6時50分民宿出発。登山口第一駐車場ゲートまでの近道を、民宿のご主人に途中まで案内してもらう。車一台しか通れないような狭い道を行くと、やがて登山バスが通る道に出る。

7時30分第一駐車場ゲートに着く。これより先は、登山バスのみ通行可で一般の車は通れない。そのバス道路を小一時間歩くと鳥倉登山口に到着(8:25)。準備を整え登山開始。いきなりの急登。急登が済んでもずっと樹林帯の登り。三伏峠小屋までどの程度進んだかを知るための看板が1/10～10/10 まである。1/10 を9時に通過。豊口山間のコルに10時着。手作り感満載の壊れかかった木の階段・橋が各所に現れる。滑りそうで怖い。景色のあまり変わらない樹林帯を進む。11時5分に「ほとけの清水」着。この後 7/10 を通過。塩川ルート分岐にて昼食(11:55～12:25)。8/10からはまたも急登。登って行くと、「日本一高い峠 三伏峠小屋 あと200歩です」の看板あり。実際に数えてみると300歩と少しあつた。三伏峠小屋着13時。今日はここ泊まり。しんどかった、えらかった。もう歩けません！

宿泊は別館の個室で、4人で丁度くらいの広さの部屋。夕食まで、少し周りを散歩する。夕食はカレーライス。照明は16時から点き19時には消える。早々の就寝になる。

夜、雨と強風あり。雨の音・風の音に眠りを妨げられる。

23日 曇後雨 朝食5時。今にも雨が降りそうな天気。風もある。登頂するか下山するか迷う。天気予報は9時頃から雨。4人で相談するもなかなか決まらず。塩見岳山頂は岩場であり、雨で滑ることもあるかもしれないし、また、24日の天気予報は雨で、あの壊れかかった木の階段・橋は雨では危ないということもあり、下山に決定。残念ではあるが仕方なし。決定の最終判断はリーダー。

三伏峠小屋6時25分発。7時塩川ルート分岐。8時35分豊口山間のコル。壊れかかった木の階段・橋は、やはり濡れていて、恐る恐る歩く。登山口に着く前から雨が降り始める。鳥倉登山口9時50分着。雨、本降りになる中、第一駐車場ゲートまで歩く。10時40分ゲート着。

下山後、道の駅「歌舞伎の里大鹿」に寄り、さらに「望岳荘」にて入浴。ゆっくりくつろいだ後、小渋ダムを見学して民宿美野鹿へ。夕食には、コスモス、ハマナス、シシウド、アカツメグサ、その他葉の物などの天ぷらあり。珍しくおいしくいただきました。

24日 曇時々雨

民宿美野鹿発8時45分。中央構造線博物館に寄ってみる。時間が早くてまだ開館してなかった。敷地内を中央構造線が走っている。珍しい岩が多数敷地内に説明版を付けて展示されてある。

小渋川では砂をとって、それを運ぶダンプカーが多数走っていた。

松川 IC(10:00)から中央道に入り、雨が降ったりやんだりの高速道を走り続け、昼食・休憩を取りながら、名神高速栗東ICで高速道を降り、草津(14:20)から琵琶湖大橋を経て帰滋。自宅近くで豪雨に襲われる。

【一口感想】

民宿美野鹿の食事は、手間暇・愛がこもった品で珍しく、美味しかった！

五月生まれの犬、‘くるみ’に癒された！

畑には、コスモスが揺れ、池には鯉が優雅に泳ぎ、コキアが可愛く並んでいた！

懐かしく、のどかな景色を民宿の窓辺で楽しんだ。霧が山を隠したり、ふわっと迫り雨を降らせたりと別世界の4日間過ごさせてもらいました。この歳で山登り&新体験をして帰宅しました。感謝しきれません。有難うございました。(N 田)

「23日の朝は雨は降っていないが風は相当強い状況であった。

天気は10時頃から雨、更に、翌日も一日雨の予報である。

この頃の予報は結構当たるので、この状況で登頂しても雨や霧の中と予想された。

また、翌日に延ばす選択肢も期待できそうにない。

ということで、リーダーはメンバーの意見を聞き、下山を決定したが、

雨が降っていない状況での判断は非常に難しかったと思う。

我々の体力も考えると、無事故で下山し、結果的には正解であったと思われる。」

(F 川)

南アルプスの山は奥深く大きい。民宿2泊、山小屋2泊というゆったり登山で計画した。残念ながら頂上に立つことは出来なかったが楽しい山行でした。(F 野)

双六岳～三俣蓮華岳～鷲羽岳

日 時：2023年8月16日(水)～19日(土)

参加者：K嶋(写真)、S水(記録、食担)

行 程：8/16 大津出発 6:30＝名神・東海北陸道・中部縦貫道＝新穂高温泉登山者無料
駐車場 13:00-30～新穂高登山指導センター13:40-14:05～わさび平小屋テ
ント場 15:35(幕営)

8/17 わさび平小屋テント場 6:15～小池新道登山口 6:35～秩父沢出合 7:50-
8:05～イタドリヶ原 8:50-9:05～シシウドヶ原 9:45-10:10～鏡平小屋 11:15-
55～弓折乗越 13:05-20～花見平 13:40～双六小屋テント場 14:45(幕営)

8/18 双六小屋テント場 5:45～巻道分岐 6:05～双六岳 7:00-10～中道稜線分
岐 7:35～三俣蓮華岳 8:35-9:00～三俣峠 9:15～三俣山荘 9:50-10:30～鷲羽岳
11:40-55～三俣山荘 12:55-13:25～三俣峠 14:00～巻道分岐 15:15～双六小屋
テント場 15:30(幕営)

8/19 双六小屋テント場 7:00～花見平 8:05～弓折乗越 8:15-30～鏡平小屋
9:15-9:40～秩父沢出合 11:45-12:15～小池新道登山口 13:15～わさび平小屋
13:30-55～新穂高登山指導センター15:20-40～新穂高温泉登山者無料駐車場
15:50＝平湯温泉入浴後帰滋

8/16(雨のち曇り) 当初は14日から水晶岳や笠ヶ岳も行くつもりで計画していた山
行。台風の影響で日程や計画を大幅に変更。結局、台風が過ぎ去った16日に出発とな
った。台風一過とはならず郡上八幡から白鳥までの高速道路が雨のため通行止。すご
い豪雨の中、下道を通して迷いながら白鳥まで行き、高速に乗る。ずっと雨だったが新
穂高温泉の登山者駐車場についたら雨がやんできて、ラッキー。わさび平小屋テント
場まで1時間半ほど歩いて無事、幕営。樹々に囲まれ宿泊者も少なく静かなテント場だ
った。名物の冷やしトマトとビールで乾杯。夕食は野菜たっぷり山の棒ラーメンを食
べて就寝。

8/17(曇りのち雨) 今日は双六小屋のテント場までの移動日。晴れてはいるものの雲が
多い。小池新道登山口からいよいよ本格的に登山開始。秩父谷出合は水がたっぷり流
れていて涼しく登山者みんなの休憩ポイント。休憩をとって先を進む。登山道は石が
平らで階段のように敷き詰められ歩きやすく整備してある。イタドリヶ原、シシウド
ヶ原…なかなか鏡平小屋までたどり着かない。鏡平池では曇っていてガスで槍の姿は
映らず。そこから後100メートルとのことでやっと鏡平小屋。ここではなんとかき氷
が食べられる。頭が痛くなることもなく、熱い体にしみこむおいしさ。元気を取り戻し
て先を急ぐ。ただ、そこから天候が段々と怪しくなり弓折乗越からついに雨が…。レ
インウェアを着こんで進むが、道はまだまだ続く。花見平では雨降る中、雷鳥親子と遭
遇。5羽がのんびり草の実をついばんでいた。何とかやっと双六小屋のテント場に着くが、
すでに満杯に近い感じ…。結局雨の中、小屋から一番離れた場所に幕営出来た。止む気
配も無いので双六岳に登るのは明日にお預け。ビールを求めて小屋に行くと何とかテ
イクアウトのカレーが購入でき、テント内で火を使わずに食事にありつくことができ
た。休憩を入れると9時間も行動。お疲れさまでした。

8/18(晴れのち雨) 今日はテント場に荷物を置き軽荷で出発。当初の計画ではテントを

担いで双六岳を登り、三俣山荘のテン場まで行き、そこから軽荷で鷲羽岳、水晶岳と縦走しようと思っていたが、重い荷物を背負っては最終日に無理があると判断し双六小屋のテン場に2日間宿泊することにした。巻道分岐から双六岳を目指す。荷物が軽いうちめっちゃ楽！！振り返るとかっこいい槍の姿が見える。憧れの“天空の滑走路”を見ることができ大感激。振り返っては何枚も写真を撮り、双六岳山頂で展望を楽しみ中道稜線分岐を経て2つ目のピーク、三俣蓮華岳に進む。3年前に雲ノ平へ行ったときに三俣蓮華岳は登ったことがある。皆さんについていくので必死だったなあと懐かしく思う。大パノラマを楽しんで三俣山荘へと下る。目の前に鷲羽岳が羽を広げてドカンと存在し赤い屋根の小屋が小さく見える。ずっと登りたかった山だ。小屋でうどんを食べてパワーを付けて鷲羽岳に挑戦。先に登る人が点々と小さく見え道を示してくれている。ゴロゴロした岩場を登ると山頂へ。ここでも絶景のパノラマを楽しんだ。時間的なことや体力的なこともあり、水晶岳はあきらめて三俣山荘へ戻る。頑張ったご褒美に槍を眺めながらケーキセットをいただく。サイホンで入れたコーヒーを楽しみながら贅沢な時間を過ごした。帰りは巻道ルートを通って双六小屋のテント場に戻る。もう少しのところで天気が崩れてきてレインウェアを羽織って急いで下山。夕方になると雨が降るけど今日はテントに入れば大丈夫。おでんで乾杯！今日は3つもピークが踏めて大満足。明日は下山のみ。おやすみなさい。

8/19(晴れのち雨) いよいよ最終日。テントを撤収して下山…なのだがテント濡れて重たく片づけに時間がかかる。ザックにもうまく収まらず押し込みながら整える。今日はひたすら降りるのみ。行きは天気が悪かったので見えなかったが、ずっと槍や穂高の山々が見渡せパワーをもらえる。何とか鏡平に到着。またまたかき氷で暑さをしのぐ。今日は池に槍や穂高が移って絶景。素敵な写真を撮って出発。ところが天気の良さが災いして暑さが半端なく重い荷物に歩が進まない。小池新道恐るべし。秩父沢出合で流れる水を飲んだり体を冷やしたりして長い間休憩。もたもたしながらやっとのことでワサビ平へ。ここからまた雨。雷まで鳴ってずぶ濡れなりながら、へろへろになって新穂高のスタート地点までたどり着いた。あ～しんどかった。水晶岳、笠ヶ岳、またの機会に登れますように。

一口感想

今回、初めて新穂高温泉から小池新道を登ったけど、予想以上にハードやった。ちょっと甘くみてたかも…。自分の体力低下もあるけど、中々手強い小池新道…ホンマ参りました。それでも今回一番楽しみにしていた「双六岳 天空の滑走路」がバッチリと堪能出来たし、何度も近くを通りながら登ってなかった鷲羽岳に登れて、充実した山行となり大満足の三泊四日となった。3日目、4日目はずっと槍ヶ岳が応援してくれているようで、ホンマ無事に下山出来て感謝です！ありがとうございました♪♪ (K嶋)



【個人山行報告書】

報告者 A 本 K 和

期間 2023 年 8 月 19 日～22 日

目的地 槍ヶ岳

メンバー A 本、S 之介 (15 歳)

8/19 (土) 京都八条口 == (さわやか信州号)
22:50

8/20 (日) == 上高地 —— 明神 —— 徳沢 —— 横尾 —— 槍沢ロッジ
5:20 12:00

8/21 (月) 槍沢ロッジ —— 槍岳山荘 —— 槍ヶ岳 —— 槍岳山荘 —— 槍沢ロッジ
5:00 10:30 11:30 12:00 16:00

8/22 (火) 槍沢ロッジ —— 上高地 = (さわやか信州号) = 京都深草 = 京都
6:00 11:00 13:30 18:51 19:30

《報告》

2017 年に孫(S 之介)と白山に登った時は、孫は小学四年生だった。その時に中学生になったら大きな山に行こうと話し、富士山と槍ヶ岳のどちらに登りたいかと問うと、槍ヶ岳と即答。しかしながら、中一になった 2020 年はコロナ旋風が吹き荒れており、計画も出来ずだった。2021 年になり、少し収まり、山小屋も人数制限など対策を取り出したので、予約を入れ、山行計画を立て、トレーニング山行もし、準備 OK だったが、全国的な悪天候のため泣く泣く中止した。

2022 年は中三となり、高校受験勉強優先で見送り。そして今年。孫の都合で、8/13～16 で計画し、バスと山小屋に予約を入れていたが、台風がうろうろ (台風 6 号) 沖縄あたりで U ターンしたりで動向を注視していたら、突然台風 7 号発生。真直ぐに甲信越方面をめざすかに (15～16 日に上陸)。結果的には少し西にそれたが、急遽日程変更を検討し、8/19～22 に決定。

このように三転四転の末にようやく実現した「槍ヶ岳」だが、この 4 年の遅れは私にとっては大きかった。体力の衰えを年々実感し、日々のトレーニングを欠かさないようにしていたが、孫との体力差は開くばかり。孫に団体装備 (飲み物、非常食、救急セット、ツエルトなど) の大半を背負わせたが、そんなもので体力差は埋まらなかった。19 日 「さわやか信州号」は一列 3 座席独立でリクライニングも深く、トイレもあり、ゆったりと眠れた。

20 日 5:20 定刻に上高地着。天候；晴れ。サンドイッチで朝食を済ませ、6:00 出発。明神ではりんごをかじり、嘉門次小屋や明神池を散策。徳沢ではソフトクリームを

頂き、横尾でカレーを食べ、と上高地街道歩きを楽しんだ。

横尾で大休止のあと、2時間ほどの登りで、槍沢ロッジ到着。到着後雷雨に見舞われた時はちょうど入浴中だった。

21日 天候；晴れ。今日は槍ヶ岳に登り、槍沢ロッジに戻るといって今回の山行の最長行程だ。本当は槍ヶ岳に登り、槍ヶ岳山荘泊、翌日上高地まで下るといって計画だったが、上高地からのバス15：40の便が取れず、13：30の便で帰る事になったためだ。

朝食を弁当にしてもらい、5：00出発。大曲あたりまでは孫と前後しながら登ったが、



ともかく孫のペースが速い。早く登りたくてうずうずしているのが分かる。

そこからは次の分岐道標まで先に行くことを許したら、あっという間に先行。道標で待っている。の繰返し。殺生ヒュッテ分岐あたりからは、まさにへろへろで、最後のワンピッチは孫が私のザックを背負いに降りてきてくれた。何とか槍ヶ岳山荘前に登り着き、一息後槍の穂にとりついた。岩登り初心者の孫は、身軽に登るかと思いきや、鎖場やはしごでは怖がって岩にへばりつくので、身体を岩から離すように言うが、なかなか難しそうだった。ゆっくり時間をかけて山頂に到着。残念ながら穂高方面はガスがかかり見えなかった。山頂で記念写真

を撮り、下山にかかった。下りはさらに慎重を要した。槍の肩に戻り、「キッチン槍」でコーヒーと焼きたてパンで昼食。

下山にかかってほどなくして、ゴロゴロと嫌な音がする。上空はまだ晴れ間もあるが、適当なところで雨具のズボンとザックカバーを装着した。登りでは余裕がなく、見過ごしたが、野イチゴがあちこちになっていて、甘酸っぱい実を口に放り込みながら、ひたすら下り、幸いにも雨には合わず、槍沢ロッジ到着は16時過ぎだった。

ちなみに私の歩行タイムは、昭文社地図の表示タイムとほぼ同じで、特に遅かったわけではない。ともかく孫が速かっただけである。

22日 晴れ。今日も孫から“置いてきぼり”をくらいながら、右足の指の付け根に出来た水膨れにびっこを引きながら、ひたすら上高地まで歩き、上高地食堂で昼食後、13:30発の「さわやか信州号」で帰京の途に就いた。

“ ああしんどかった！ ”

日時	2023年8月27日〈日〉～9月1日〈金〉	
参加者	CLH池 SLT中啓 H浦(会計) K林(記録)	
コース	28日 上高地7:00～横尾山荘10:15～槍沢ロッヂ12:30	
	29日 槍沢ロッヂ5:00～天狗池8:25～南岳12:00～南岳小屋12:20	
	30日 南岳小屋7:00～中岳9:40～大喰岳11:15～槍ヶ岳山荘12:30	
	31日 槍ヶ岳山荘6:35～槍沢ロッヂ～11:40～横尾山荘14:20	
	1日 横尾山荘7:00～上高地10:30	帰滋

移動手段 堅田⇄高山(JR往復・9750円) ※ジパング倶楽部会員価格
高山⇄上高地(バス往復・5430円) ※平湯経由

初日は移動日、岐阜からは「ひだ9号」利用。高山駅からバスで平湯へ向かう。車内から土砂降りの雨を見る、ここ数日午後の天気は不安定らしい。平湯泊。二日目、快適な上高地にサクサクと足がすすむも徳澤を過ぎ梓川沿いの道に出た途端に工事車両の爆音、ちょっとがっかり。予報通りの雨は宿に到着後でラッキー。きれいなお湯で汗を流せてさっぱり。三日目、5時出発とし朝食はお弁当《ちらしの押し寿司》、これがまあ美味！箸が止まらなかった二名4時完食。日差しがありがたくもしんどい3時間、到着の天狗池で大休憩。いよいよ南岳！岩がごろごろと重なる登山道には指標となる丸印多数、程よい緊張感を感じつつ進み、立ち止まっては山々を眺め、また進む。足がつかなくなりかけたころクサリ場と梯子を登って南岳登頂、飛騨側はガスが出始めていたものの、この日も雨と無縁で南岳小屋着。小屋裏の大キレットが一望できる場所で北穂を愛でる、北穂が近い、でも遠い。宿泊者の多くは翌日北穂に向かう人達でした。四日目、距離が短いので時間にゆとりあり。3000m超えの三座をのんびり堪能、南岳→中岳→大喰岳の順序がやっと脳みそに刻まれた・かも。この日が誕生日のH浦さんは四座目の3180m槍ヶ岳にも登頂。槍ヶ岳山荘でのんびりしていた夕刻「夕日がめっちゃきれいです、見てください」との館内放送あり、外に飛び出るも(ダウンを着ていても)寒くて早々に小屋に戻る。五日目、下山開始、ババ平のテン場から槍沢ロッヂまでがやたら長く感じたが、その先は一ノ俣、二ノ俣を地図でみるゆとりもできて横尾山荘着。三日ぶりの入浴は一番湯。六日目、上高地に戻りバスで高山へ、乗車の「ひだ36号」は京都まで乗り換えなし。恵まれた天気と時間のゆとりが多くのを魅せてくれた山旅でした。



<個人山行報告>

立山三山

日時：2023年8月29日(火)-31日(木)

参加者：K嶋(写真)、S水(食担・記録)

行程：8/29 大津出発 3:00=名神・北陸道立山 I C =立山駅 9:00(ケーブル・バス)
室堂 10:10-45~雷鳥沢キャンプ場(幕営)

8/30 雷鳥沢キャンプ場 5:40~新室堂乗越 6:10~剣御前小舎 7:10-25~剣御前山 7:35-40~剣御前小舎 7:50~別山 8:20~北峰 8:30~真砂岳 9:30~富士ノ折立 10:15-20~大汝山 10:45-11:15~雄山 11:40-12:10~一の越山荘 12:50~富山大立山研究所 13:20~龍王岳 13:35-40~浄土山 14:25~展望台 15:05-10~立山室堂山荘 15:55-16:05~雷鳥沢キャンプ場 16:45(幕営)

8/31 雷鳥沢キャンプ場 8:10~雷鳥荘 8:30-9:05~室堂 9:45-10:00=(バス・ケーブル)=立山駅 11:10=入浴後帰滋

8/29(曇り一時雨) 白馬岳に行ったことがないので白馬三山へ…とテン場も予約していたのに、なんと27日から大雪溪が融雪の影響で通行禁止となってしまった。なので近くを何度も歩いていながら、まだ行けていなかった立山三山に変更。1日目は雷鳥沢で幕営するだけなのでいつもより少し遅く夜中3時に大津を出発。平日にもかかわらず立山駅の駐車場は相変わらずいっぱいでの下の駐車場に駐車。ケーブル、バスには待つことなくスムーズに移動でき、時間帯によってこんなに変わるのかとびっくり。荷物は重いけど今日は1時間ほどで雷鳥沢のテン場に到着。一年ぶりのテン場はそんなにテントは多くはなくお気に入りの場所に幕営。地図を広げながら早々と焼酎で乾杯！今日のメニューはペペロンチーノパスタのウイナーのせ。がつつり食べて明日に備える。

8/30(晴れのち曇り) 朝、5時40分出発。午後からの天候の崩れを予想して時計回り縦走することにした。新室堂乗越経由で別山乗越まで進む。今日はサブザックなので身軽で動きやすい。今回はせっかくなので出来るだけたくさんのピークが踏みたいという欲張り山行。まずは前から気になっていた剣御前山。登ってみるとなんと剣岳がドカ〜と目の前に。7月に登ったばかりの剣岳。かっこいい姿に感激！2座目は別山。北峰からも剣岳がくっきりと見えて圧巻。遠く富士山も顔を見せてくれている。やたらと写真を撮りまくり、次は3座目の真砂岳へ。その後ずっと続く稜線を通って立山、富士ノ折立へ。山頂では槍の姿も小さく見える。富士の折立のほか、“なげやり”という標識もあり2つを持って写真撮影。そしてガラガラした道を通って大汝山へ。大汝休憩所の前に荷物をデポして山頂に向かう。緑の水面をたたえた黒部湖が美しく展望がよい。小屋前に戻っておにぎりをほおぼり小休止。次は雄山。ここには大勢の人が集まっている。頂上で話し上手な神主さんにご祈祷してもらい万歳三唱。そして浮石多いズルズルした道を一の越へと進む。立山三山とは別山・立山(富士ノ折立、大汝山、雄山)・浄土山なので、せっかくだが浄土山までまたも登り返し。途中、富山県警が女性をおんぶして降りてくるのに遭遇、左足をL字に固定されていて骨折されていたとのこと。気を引き締めて前に進む。3年前に薬師岳まで縦走した時に通った富山大学立山研究所が見えた。間近に龍王岳のごつごつした山容が見える。前回は登らず巻いて先を急いだので今回はこの龍王山も登頂。岩の険しい山に見えるが、10分程で登ることができた。そして最後の浄土山へ。ところがいつの間にか行き過ぎて軍人霊碑まで来てしまっている。少し戻ったらケルンのところに手書きの“浄土山”の表示があ

った。表示がわかりづらくてうっかりスルーするところだったが、これで何とか立山三山を回ることができた。後は室堂まで…と思っていたが、ここからの下りがめっちゃハード。ゴロゴロの岩が続き一日歩き続けた足に堪える。前回、こんなところをテ泊の荷物を持って登ったなんて信じられない。何とか必死で歩き続けて浄土山登山口へ降りて、その後も室堂平に出るまではゴロゴロ道が続いた。立山室堂山荘でアルコールを買い占め、へろへろになりながら雷鳥沢のテン場に到着。とりあえず乾杯！！行動時間 11 時間強。長～い一日やった。

8/31(曇り時々晴れ) 今日撤収して帰るだけ。ゆっくり朝食をとりテント撤収。今回は濡れていないので片付けが楽チン。急階段を登り雷鳥荘で手作りケーキセット。ジャズの流れる心地よい所でしばし休憩。立山まで降りて吉峰温泉で汗を流し帰途に着く。欲張ったのでハードやったけど雨にも合わず絶景の連続に感激。今回はずっと剱岳が応援してくれて幸せ！！あ～楽しかった。来月は紅葉の大日三山の予定。お天気だといいなあ。

(一口感想)

白馬の大雪溪が通行止めとなり、急遽立山三山に変更…！！6年前に上高地まで縦走した時に立山は歩いたけど、その時は雨で景色も見られず、富士ノ折立もスルーしていたりで記憶も全く定かで無い…。今回は立山三山+αって事で一日かけてじっくりと歩いたので大変満足な山行となった。おかげで最後は疲れてへろへろになったけど、無事の下山に感謝したい。(K嶋)



2023年度第6回 運営委員会報告書

日時：9/12（火）19：30～21：30

出席：N村、A本、N野、K林、K藤、F川（記録）、N村友、T中利、K嶋、H野
欠席：I東、F野

場所：比良雪稜会事務所

1. 登山祭典（秋の野点山行）について（10/22(日)開催予定）

1) コース（余呉トレイルの音波山）・・・N村会長より下記説明がなされた。

365号栃ノ木峠手前の登山口～765m～巡視路分岐～音波山（昼食・野点）～（往路を戻る）～365号栃ノ木峠手前の登山口・・・音波山への県境尾根一帯は美しいブナ林が広がっているのだが、そこに風力発電計画が進行中で、その現況を見てもらいたい面もある。

・集合： JR 堅田駅 7:35～小野駅 7:45～和邇駅 7:50・・・堅田は西口、時刻は電車の到着を考慮し、これまでより5分遅くした。

・交通： 貸切大型バス

・持物： 弁当・飲み物・雨具・ライト等の日帰り装備

・参加費： 会員&会員家族・会友：2,500円

一般：3,700円（バス代、抹茶・菓子代、保険代等）

・募集定員： 50名

・締切： 10月15日（日） 但し定員になり次第締切

2) 登山祭典のチラシ

200部を受け取り済・・・各委員は友人知人に配るなど適当な必要部数受領

3) 準備会

10/21（土）10:00～比良雪稜会事務所

4) 県連からの案内

県連ニュース9月号に登山祭典の案内を掲載

5) 下見

10/4（水）本番と同じ時間帯にて行いたい、数名の同行を願う。

6) 現在の参加申し込み状況

会員数名、一般5～6名

2. 水質調査と放射線測定について（11/3(金・祝)開催予定）・・・K藤説明

コース ・大橋方面

・荒川峠方面

ぶな10月号と県連ニュース10月号に案内を掲載予定、交流山行にする。

放射線測定器は連絡すれば県連 T 中武範理事が届けてくれる。

3. 県連主催ハイキングレスキュー講習会について（11/12(日)に実施予定）

・スタッフの事前打ち合わせ（現場での練習会）を10/21（土）（予備日として11/5(日)）に実施予定

・本会よりK藤、N村 Y 妃子が参加予定（スタッフとして）

・ハイキングレスキュー講習会の案内をぶな10月号に掲載する（原稿：N野）

・当会としては会員の参加を推奨する（受付：K嶋）

4. 各担当より

- リーダー部 濱野
 - * ホームページ原稿作成手順に関し、リーダー部会で異論が出て、それを踏まえ、更なる改善案を濱野リーダー部長より資料を配布し提案があった。
 - * 一度運営委で決めたことをそんなに簡単に変えてよいのか、改善案は妥当であるなど多くの意見が出され紛糾したが、以下のようにまとめられた。
 - * 原稿は山行記録者が作成→リーダーがチェック後ぶな用、HP用原稿（写真を5~6枚ピックアップ）を作成→当月ぶな編集リーダー&HP担当者に送付、当月ぶな編集リーダーは作成後のWord版ぶな原稿→HP担当者に送付。
 - * なお、個人山行記録について、ぶな及びHPへの掲載は各々の山行リーダーの判断に任せる。
- 遭難対策・技術アップ・・・なし
- 会計・・・会費等の入金状況報告 N村友
- 自然保護・・・近藤は全国自然保護委員に推されたと報告。全員受諾賛意表明
- 機関誌・・・なし
- 労山基金・・・事故2件あり、1件については交付申請済。 K林
- HP：例会山行報告書のホームページ掲載手続の確認・・・資料配布確認：前掲
- 事務局：会員名簿および緊急連絡網の発行について・・・年1回とする

5. 県連報告・・・T中利理事より第7回も含め以下報告された

1) 第6回 ZOOM 理事会が7/12(水)にリモート会議で実施された。

議題1. 清掃登山

- 自治体及び協力社への報告(19件)について
- 県連ニュース7月号に統括報告と各コース山行報告を掲載済み
- 2023年清掃登山収支報告
- 次年度への引継ぎ事項
 - ①チラシ 参加者の緊急連絡先記入欄 ②手引き 高校生以下無料を削除
 - ③4日間に分散した件について、11/8の代表者会議で検討
 - ④自治体へのチラシ郵送で広報の効果あり ⑤不法投棄の写真を報告に同封
 - ⑥次年度山域の決定報告を代表者会議で発表予定

議題2. 初級登山教室

- 6/14 座学・クライミング2 確保システム、ピレイ、支点
- 6/28 座学・沢登座学 装備、遡行図等

議題3. 初級読図コース・・・次回9/末実施予定

- 6/25 「逢坂山」実施 会員外1名参加

議題4. 各部からの報告

- 機関誌部 県連ニュース8月号(7/15締切)、リレーエッセイ(ちごゆり)・写真(理事)、その他 交流山行として海外登山2件(オフトレイル)
- 自然保護部 6/17-18の全国自然保護担当者会議に雪稜会近藤氏が参加し、県連ニュース8月号に報告済み
環境放射線モニター校正(メンテナンス)済、全国連盟修理代負担(17480円)
- 組織部 交流山行：①7/15-16 越前甲~大日岳 オフトレイル②8/19 ニノ谷山 ちごゆり ③海外登山2件 オフトレイル 8月号掲載
- 財政部 講習会補助 6/17-18の会議参加費8,500円の半額(4,250円補助)
- 教育遭対部 11/12の「ハイキングレスキュー講習会」の実施決定 場所は千

石岩直下の斜面、
議題5. その他

- T 中政行理事より講習会企画の進捗報告
気象講習会が提案されたが、来年度実施の方向で先送り

2) 次回 第8回 ZOOM 理事会は 10/11 (水) に実施致します。

6. その他

- 県連主催の講習会で、“希望する講習があれば藤野まで申し出を”(F 野理事より)
- 交通費は 40 円/km です。
- 会員動向；M 原 K 一郎さん、S 田 Y 明さんが 7 月末で退会し、現会員数 39 名。
- 忘年会を 12/16 (土) に「ふじ」で計画したい・・・了承
- O 野氏より“大阪労山中級登山学校を修了したので 今後は会に還元したいとの申し出あり。
- 一名体験参加希望者有：53 歳、壮健、経験有、10/22 登山祭典に参加申込。

次回 第7回運営委員会は 2023 年 10/10 (火) です。



2023年10月予定表

1	日		19	木	
2	月		20	金	
3	火		21	土	
4	水		22	日	登山祭典（秋の野点）「ぶな」原稿締切 音波山
5	木		23	月	
6	金		24	火	
7	土		25	水	
8	日		26	木	
9	祝月	スポーツの日	27	金	
10	火	第7回運営委員会	28	土	
11	水		29	日	例会山行 鈴鹿縦走（武平峠～根ノ平峠）
12	木		30	月	
13	金		31	火	
14	土		編集後記		
15	日	例会山行 八雲ヶ原テント泊			
16	月	例会山行 八雲ヶ原テント泊			
17	火	第5回リーダー部会			
18	水				
11月の予定					
3	金・祝	公開山行 水質検査・放射線測定山行			
12	日	ハイキングレスキュー講習会			
19	日	例会山行 鈴鹿縦走（藤原岳～御池岳）			
23	木・祝	例会山行 高取山			
今月号と来月号の当番					
今月号は H部史CL・H部美・I東・I村・O大村益・O村智・N野の皆さんです。					
来月号は K原CL・N村高・N西村和・N尾・T田中利・S田弘の皆さんです。					



ぶな 2023年10月号 No. 535

滋賀県勤労者山岳連盟
比良雪稜会

滋賀県大津市和邇今宿 712-1 西村方
TEL&FAX 077-594-0454
E-mail kazuyo-buna@river.sannet.ne.jp
HP <http://www.eonet.ne.jp/~geonet/hira/>